

<先週の説教から>

『詩編 33 — ペンテコステ・世界も人の心も

造られる主』 武田真治 牧師

詩編 33:1~22 ヘブライ手紙 11:3

この詩編の1~3節は、神様を讃美することに加わるようにと歌う“賛歌”としてよく用いられています。即ち「主に従う人よ、主によって喜び歌え。主を讃美することは正しい人にふさわしい。琴を奏でて主に感謝をささげ、十弦の琴を奏でてほめ歌をうたえ。新しい歌を主に向かってうたい、美しい調べと共に喜びの叫びをあげよ」です。「新しい歌」とあるところから神殿奉献祭や新年の契約更新祭などで用いられた詩編かもしれませんが、この詩編での重要な点は、その神様の何をここで讃美しようと言っているのかという点なのです。それが4~14節で語られており、「御言葉によって天は造られ、主の口の息吹によって天の万象は造られた」です。まさに“神の言葉による創造”ですね。神様は最初に『光あれ』と言葉を発せられ、すると光が出来たのでした。次に『水の中に大空あれ』と言われて、地上の水(=雲や雨)と下の水(=海や深淵)が出来ました。このように“御言葉によって”この世界は造られたのでした。この点をヨハネ福音書は「初めに言(ことば)があった。万物は言によって成った」と讃美していますし、今日のもう一つの聖書箇所ヘブライ書でも「わたしたちはこの世界が神の言葉によって創造され、従って見えるものは、目に見えているものからできたのではないことが分かる」とあります。そして故に今でも「主の企てはとこしえに立ち、御心の計らいは代々に続く」のです。まさに“人間の歴史に働かれる神様”の御業を信じよう。逆に言えば、どのような権力者や国の独裁者の企てや侵略戦争も、必ず「主が挫かれる」のだからと!

もう一つ、この詩編は神様が創造されたものとして「人の心をすべて造られた主は」と語っています。私たちを造ってくださった方は、当然ながら私たちの“心”も造ってくださったのではないのでしょうか。よく考えればまさにその通りなのですが、しかし、えてして私たちは自分の気持ちや思い、

思考や意志、特に好き嫌い、喜怒哀楽の感情は自分だけのものと思っています。そして、悩みや困難に直面すると目の前のことを処理するだけで精一杯になり、誰も分かってくれない、神様も聞いてくれないと思ってしまいます。しかしこの詩編が告げていることは、神様がその“心”を造られたのだから、神様は私たちがどんなことを考え、どのように感じ、どう判断するか分かっておられるはずではないかと。その上で私たちを導いてくださっているのだと!「見よ、主は御目を注がれる。主を畏れる人、主の慈しみを待ち望む人に命を得させてくださる」と。だから、「我らの魂は主を待つ」者となっていこうと示されているのです。困難に出会っても、自分の中に閉じこもらず、孤独に陥らず、主を見上げながら、主の導きを“待てる”者でありたい!

\*\*\*\*\*

#### 【今週の集会】

\*聖書研究・祈祷会 I. 6月 7日(水) 20:00

II. 6月 8日(木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答

祈祷主題: 花の日・こどもの日合同礼拝を覚えて

担当者: (水) 鄭 (木) 山田

祈りに覚える人: 喜嶋さん 北島さん

#### 【教勢報告】

主日礼拝 男 26 女 68 計 94

コンサート 男 30 女 79 計 109 (内、子ども 20)

祈祷会 I. 男 5 女 3 計 8 II. 男 1 女 9 計 10

日曜学校 幼稚科 10 小中科 10 計 20

\*\*\*\*\*

#### 【花の日合同主日礼拝】 6月 11日(日)

聖書: マルコによる福音書 2:1~12

説教: 「花の日合同礼拝 — イエスさまのそばにいけば、なんとかなる!」 武田真治 牧師

讃美歌: 490(子供137)、32(子供27)、182(子供43)、60(子供58)、533(子供129)、24(子供25)

#### 【次週当番表】

司式: 保坂長老 奏楽: 須田 礼拝: 齋藤長老

献金: 小杉 小林 受付: 鈴木 橋本

会堂準備: 飯島 岡本由 金刺 中村

森本

看板: 岩佐 週報: 飯島 お花: 羽倉

#### 【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会

礼拝後: ・大掃除 ・壮年/婦人/ダビデ 各会

64 - 23

# 週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう! 主に癒され、整えられて」

2023年 6月 4日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>